

ヒト・パピローマウイルス

HPVについて知ろう

国際セントラルクリニック婦人科 伊藤富士子

人体にがんを引き起こす微生物があります。皆さんもピロリ菌が胃がんの原因となることをご存知ですね。HPVは子宮頸癌を引き起こすウイルスです。しかしHPVが引き起こすのは子宮頸癌だけではなく、図1)にあるように中咽頭癌・肛門癌などもあります。

癌から発見される頻度の高い13又は14種をハイリスク型と言います。中でも16と18型は頻度が高く、図1)からも分かるように、子宮頸癌のHPV関連96%の内76%、中咽頭癌は63%の内95%、肛門癌は93%の内93%が16と18型によるものです。

HPVは巧妙に自然の免疫を逃れます。しかも、いったん細胞内に入ったHPVは排除できません。私達の細胞内に入り込めなくさせる作戦が最も有効です。そこで外の殻だけを作りワクチンとして接種し、殻の表面にガッチリくっついて細胞に侵入できなくする抗体を作らせることに成功しました。

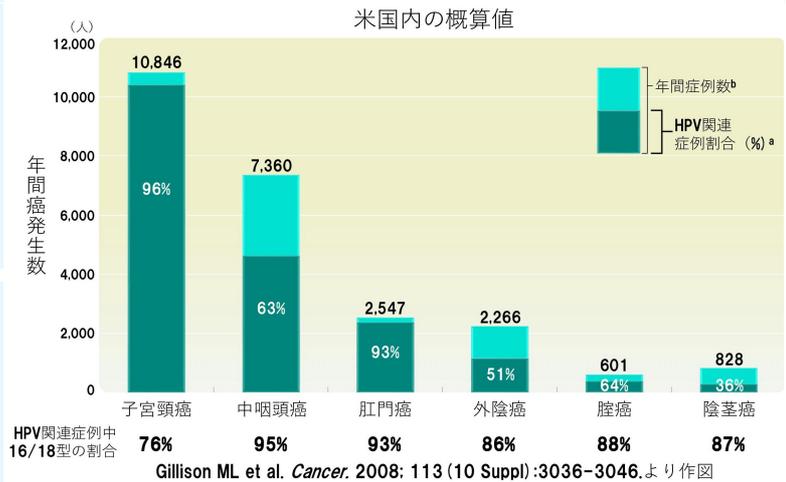


図1) 高リスク型HPV型に起因する癌の発生及び分布 (1998~2003年)

2価ワクチン(サーバリックス)

- ・L1-HPV16 18
- ・接種スケジュール 0、1、6ヶ月
- ・効能又は効果
HPV16型18型感染に起因する子宮頸がん及びその前駆病変(子宮頸部上皮内腫瘍CIN2・3)の予防

4価ワクチン(ガーダシル)

- ・L1-HPV 6 11 16 18
- ・接種スケジュール 0、2、6ヶ月
- ・効能又は効果
HPV6、11、16、18型の感染に起因する以下の疾患の予防;子宮頸癌及びその前駆病変CIN1、2、3並びに 上皮内腺癌 * 外陰上皮内腫瘍並びに腔上皮内腫瘍1、2、3 * 肛門癌及びその前駆病変肛門上皮内腫瘍 * 尖圭コンジローマ

9価ワクチン(シルガード9)

- ・L1-HPV 6 11 16 18 31 33 45 52 58
- ・接種スケジュール 0、2、6ヶ月
- ・効能又は効果
HPV6、11、16、18、31、33、45、52、58型の感染に起因する以下の疾患の予防;子宮頸癌及びその前駆病変CIN1、2、3並びに上皮内腺癌 * 外陰上皮内腫瘍並びに腔上皮内腫瘍1、2、3 * 尖圭コンジローマ

図2) 日本で承認されているHPVワクチン

発癌性がとびぬけて高い16型と、2番目に多くしかも予後の悪い腺癌を引き起こす18型に対する2価ワクチンが作られ、次に低リスク群だが再発し易い尖圭コンジローマや再発性呼吸器乳頭腫症を引き起こす6型・11型が追加された4価ワクチン(肛門癌にも唯一効能認可)ができ、これに16・18の次に頸癌を起こす頻度の高い5種類を追加した9価ワクチンが開発されました。図2)

国内論文中のHPV型別検出割合から計算してみると、子宮頸癌について2価・4価ワクチンは約65%、9価ワクチンは90%弱が予防できると予想できます。日本では2価ワクチンと4価ワクチンだけが、定期接種として中学1年から高校1年の女兒に公費負担が認められており、9価ワクチンの認可が待たれます。



コロナワクチンよもやま話

(医療法人) 三九会 三九朗病院 中屋敷敦子

2021年3月「〇〇さん、コロナワクチンは、打ちたいですか？」
「テレビで副反応のことを聞くと怖いので、
先生たちが打ってから考えます（笑）」

こんな会話が診察室で交わされてから2回目接種まで順調に進み、1年
が経ちました。

次は3回目の接種を受けなければならない今日この頃です。

コロナウイルスは感染するとき、ヒトの細胞表面にスパイク状のタンパク質をひっかけて侵入します。このタンパク質の遺伝子情報をワクチン接種により、あらかじめ体に覚えさせ（中和抗体を作って）侵入してきたウイルスをブロック、また侵入したとしても別の免疫反応で重症化するのを防ぎます。変異株に対応するには3回接種することが大切です。

ワクチンを打ち終わったら、まずやって欲しいこと。昨年見送った方は、健康診断、歯科受診を、途切れがちになっている持病の定期通院をしてください。昨年は、健康診断の受診率が低く、例年なら見つかるはずの「早期がん」が数年後に「進行がん」として見つかるのではと心配されます。もちろん高血圧や糖尿病などの生活習慣病も放置してはいけません。

新型コロナウイルス感染症がインフルエンザのように季節性に変わる日まで、あと少しです。皆さん、ご自愛ください。

